

2017 第 1 回定例研修会（案）

1. 日時：2017年 7月 22日（土）13:00～16:30（受付 12:30～）

2. 会場： マイドームおおさか

3. テーマ：

＜講 演＞「学会発表って、ハードルが高い?!」

「研究のはじめ方 学会発表とは」講 師 巽あさみ先生（浜松医大）

4. 目的： 産業看護専門家制度をすすめるにあたり、学会発表や論文は敷居が高いとの声が、会員よりよく聞かれるため、研究の具体的な取り組み方法について研修が必要です。また、日々の業務についてPDCAを回し、今後の業務に発展させるためにも、私たち産業看護職の実績を文章にまとめ、上司や経営層にアピールし伝えていくことも不可欠です。

以上より今回の研修では、専門家としての文章の書き方、学会発表の仕方について学びます。

5. スケジュール

時刻	分	スケジュール		
12:30-13:00	30	準備・受付		
13:00-13:30	30	交流会		他社産業看護職と、日頃の業務、キャリア、人間関係等さまざまな相談ができるようなネットワークを構築できるよう、出会いの場づくりとして交流会を企画
13:30-14:00	30	受付		
14:00-16:30	90	研修	巽先生	ご講演
17:00		会場返却		

6. 内容

主な流れ 1) テーマを絞り込む 2) 文献を検索する。文献を読み込む 3) 研究を計画する
4) データ収集・分析 5) 結果をまとめる 6) 考察

その他、幹事から事前に具体的に質問収集し、巽先生にお伝えし、当日ご教授いただく。

①上司、経営層にアピールできる研究テーマの切り口（概要）は？

②労働者一人ひとりの事例研究では 質的研究をどのように数値化すればよいか？

③成果が短期間で、でないことも多いが、研究計画ではどこまで作成すればよいか？など

7. 主催：産業衛生学会近畿産業看護部会

共催：大阪産業保健総合支援センター